実践記録

学校/学年	小学校 / 6年 /	
教科等：単元名	携帯電話の正しい使い方	
キーワード		
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	C3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる D3: 情報社会の危険から身を守るとともに不適切な情報に対応できる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	C3-2: 「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する。 D3-1: 予測される危険の内容がわかり、避ける。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	携帯電話の取り扱い上の問題点を知り、よりよい活用方法を身に付ける。	
使用教材	教材名	「ちょっと待ってケータイ」DVD
	製作者	文部科学省 エル・ネット
	入手先(URL等)	長野市視聴覚ライブラリー

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1. 携帯電話のよい所・気をつけたい点を出す。 2. 映像(事例1・2)を視聴する。	・ 出にくい場合、どんな機能があるか聞いてみる。 ・ 事例1は特に女子、事例2は特に男子に多いケースという点を補足する。
展開	3. 事例ごとに「どう対応すればよいか」班ごとに話し合う。 4. 発表する。	・ 「自分だったらどうするか」という観点で考えさせる。 ・ 友達の発表を聞いて、さらに良い対応はないか考えさせる。
おわり	5. 感想を発表する。	取り扱い上の問題点とよりよい対応について考えることができたか。

授業の成果

- ・ 危険性について漠然と理解している子が半数ほどいた。ほとんどの子が映像を食い入るように見ていた。女子から「便利だけどやっぱり怖いので気をつけたい」という意見がだされた。

指導のポイント・留意点

- ・ 事例4までであるが、高学年なら2まででよいかと思われる。3は若干刺激的すぎると感じた。
- ・ 携帯電話だけでなく、インターネットを使う上での注意点にもなった。